

学校教育目標 社会に貢献しながら、
自立する生徒の育成
～気づき、考え、実行する～

やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある
学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 豊かな心の育成
- ④ 健やかな身体の育成
- ⑤ 特別支援教育の推進
- ⑥ 生徒の良さを伸ばし、課題を解決するための
「連携・協働」の推進

地域に学び、地域に育つ

職場体験学習 特集号

師走を迎え、冷たい風に冬の訪れを感じる季節となりました。朝晩の冷え込みが一層厳しくなり、生徒たちの吐く白い息に、冬の足音を感じます。

今年も残すところあとわずか。この2学



期、学習や各種行事を通して、一人ひとりが大きく成長した姿に、私たち教職員も喜びを感じています。

12月はまとめの時期であると同時に、新しい年への準備の時期でもあります。今年を振り返り、来年の目標を考える良い機会です。健康に気をつけながら、



充実した毎日を過ごしてほしいと思います。寒さが厳しくなる中でも、心は温かく、笑顔あふれる学校生活を続けていきましょう。

さて、1・2年生は、**職場体験学習**を実施しました。コロナ禍を経て、本格的に再開です。普段の学校生活では味わえない経験を積み重ねることができました。お疲れ様でした。この経験を自信に変えて、これからの学習や生活に活かしていきましょう。

地域の力に支えられたキャリア教育

ところで、職場体験学習の意義とは何でしょうか。

今の社会は、技術の進歩や国際化が急速に進み、将来の仕事の姿も大きく変わりつつあります。生徒たちが大人になる頃には、今はまだ存在しない仕事に就く

可能性さえあります。そんな時代を生きていくためには、自分で考え、選び、行動する力が欠かせません。

キャリア教育は、その力を育てるための学びであり、職場体験はその中心となる活動です。



職場体験には、いくつかの大切な意義があります。

まず、働くことへの理解



が深まることです。実際に働く大人の姿に触れ、仕事の大変さややりがいを感じることで「働くってこういうことなんだ」と実感を伴って学ぶことができます。

次に、社会の一員としての自立心が育つことです。

学校とは違う環境で、多く



の大人と関わりながら役割を果たす経験は、責任感や協調性を育ててくれます。また、実際の仕事に取り組む中で「自分にはこんな力があるんだ」「この仕事は思っていたより難しいな」等、自分自身を見つめ直す

きっかけにもなります。

さらに、職場体験は、コミュニケーション力や主体性等、社会で必

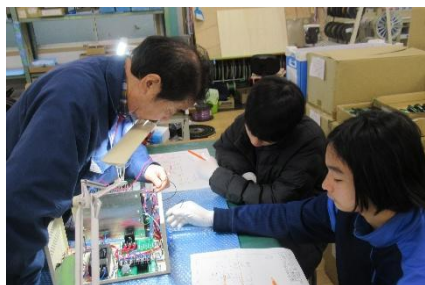


要とされる力を育てる場でもあります。初めて会う大人と話すこと、自分から行動してみることで、体験の一つひとつが“生きる力”の土台となります。

小さな学校、小さな村の大きな学び

今回の職場体験学習には、1年生と2年生が参加しました。人数は少ないですが、その分、生徒一人ひとりの姿がよく見え、地域の皆様との距離もとても近いのが本校の良さです。

今回の体験でも、その“近さ”が温かさとなって生徒たちを包んでくれました。小さな村だからこそ、地域の皆様は、生徒たちのことをよく知っていて、まるで家族のように迎えてくださいました。慣れない作業に戸惑う生徒たちに寄り添い、優しく声をかけてくださったり、できたことを一緒に喜んでくださったり等々、どの職場でも温かいまなざしが注がれていました。



生徒たちは、「地域の大人に支えられている」という実感を強く持つことができました。小さな村の中で、多くの大人が、自分たちの成長を願い、見守ってくれていることを肌で感じられたのは、今回の職場体験の大きな成果の一つです。

“やりがい”を感じる体験にしたい

特に大切にしたいのが、“やりがい”を感じる体験です。働く楽しさや人の役に立つ喜びを感じることで、将来への前向きな気持ちが育ちます。「自分にもできた」という小さな成功体験



は、生徒たちの心に大きな力を与えてくれます。

もちろん、仕事の厳しさを知ることも大切ですが、まずは「やってみてよかった」という気持ちを大切にしたいと考えています。

地域への感謝を込めて

繰り返しになりますが、地域の皆様の温かいご支援・ご協力のおかげで、生徒たちは、多くの学びを得ることができました。この場を借りて、心より感謝申し上げます。



これからも、地域を担う子供たちを、地域で育てる教育へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

3日間の職場体験を終えて…

今、生徒たちは、この体験を振り返る、まとめの学習に取り組んでいます。体験中に見たこと、感じたこと、挑戦したこと等を、自分の言葉として整理し学びとして定着させる大切な時間です。

お世話になった事業所の皆様へ感謝の気持ちを込めて、お礼状を作成する姿からは、地域に支えられて学んでいるという実感と、社会の一員としての自覚が育っていることが伝わってきます。

単に、出来事を振り返るだけでなく「自分は何ができたのか」「どんな力が伸びたのか」「これからどう生かしていくのか」といった自己理解を深める視点を大切にしています。



こうした振り返りの積み重ねが、生徒一人ひとりのキャリア発達の基盤となり、将来を主体的に切り拓く力へとつながっていきます。地域の温かい支えの中で得たこの経験を、自信と成長につなげていく生徒たちの姿は、とても頼もしく感じられます。

今回の学習をこれからの学校生活に生かし、未来に向かって力強く歩んでいってほしいと願っています。